

平成18年度新体力テストの結果

1 調査の概要と調査協力校

(1) 調査の概要

調査の目的

県下の児童生徒の体力・運動能力の実態を把握し、今後の体育指導の改善及び基礎体力養成の資料とする。

調査の対象と人数

ア 小学校	1 ~ 6学年の男女児童	30校	12,531人
イ 中学校	1 ~ 3学年の男女生徒	20校	6,819人
ウ 高等学校	1 ~ 3学年の男女生徒	12校	7,266人
	総計	62校	26,616人

調査協力校の抽出方法

ア 調査協力校の抽出

地域等を配慮して抽出する。

原則として、小学校は平成5年、中学校は平成9年度以降に協力校指定を受けていない学校を選定する。

高等学校にあたっては、以前の順番を考慮して依頼する。

イ 各校における提出人数

各学校における提出調査人数は、原則として各学年男女全員とする。ただし、事情により全員提出できない場合は、相談に応じる。

調査実施の期間 平成18年5月～10月

調査の内容と方法

ア テスト項目

小学校1年～6年(6歳～11歳対象)

	項目		項目
1	握力	5	20mシャトルランテスト
2	上体起こし	6	50m走
3	長座体前屈	7	立ち幅とび
4	反復横跳び	8	ソフトボール投げ

中学校1年～高等学校3年(12歳～19歳対象)

	項目		項目
1	握力	5	20mシャトルランテスト又は、持久走のどちらかを選択
2	上体起こし	6	50m走
3	長座体前屈	7	立ち幅とび
4	反復横跳び	8	ソフトボール投げ

イ 実施について

文部科学省スポーツ・青少年局から示されている「新体力テスト実施要領」により実施する。

(留意事項)

事前に測定の意味や方法(特に新種目)を十分理解させ、実力が十分発揮できるように指導をする。

中学生・高校生の反復横跳びのラインの間隔を間違えないように設定する。

(新体力テストに移行してからは、小学生と同じ間隔の「1m」である。)

ソフトボール投げのボールは、要領に示された規格のものを使用する。

測定器具については、握力計の精度について留意する。

集計処理

平成15年度から新体力テストの集計処理は、「新体力テスト集計システム」を活用し、長野県教育委員会事務局スポーツ課において行う。

(2) 調査協力校

平成18年度調査協力校

	小学校(30校)	中学校(20校)	高等学校(12校)
東信	軽井沢中部、本牧御代田、平根、中込長、城下、塩尻	小海、望月、真田	東部、岩村田
南信	宮田、赤穂、長地玉川、竜丘、三穂伊賀良、山本、龍江	春富、富士見・南、諏訪諏訪西、阿南第一豊丘	諏訪実業、上伊那農業飯田風越、阿南
中信	今井、明善、会染大町西	明科、女鳥羽、奈川広陵、木祖、白馬	松本筑摩、大町
北信	柏原、城東、朝陽若槻、日滝、延徳豊井、五加、埴生	山ノ内、北部、東北更北、常盤	飯山北、中野西長野西、篠ノ井

平成17年度調査協力校

	小学校(30校)	中学校(20校)	高等学校(12校)
東信	小諸東、岩村田、田口軽井沢東部、上田西豊殿、祢津、武石	川上、御代田、丸子	小諸
南信	中州、城北、東伊那下諏訪、辰野西箕輪中部、座光寺下久堅、阿智第一平谷	岡谷東部、諏訪南高遠、飯島、下條天龍、泰阜	伊那北、赤穂、富士見辰野
中信	島内、山辺、開明桔梗、福島、豊科南	旭町、明善、信明、檜川豊科南、穂高西	田川、蘇南、穂高商業
北信	三輪、浅川、川田旭ヶ丘、中野、屋代	松代、犀稜、小布施鬼無里	長野南、須坂東、中野中条